

光市記者発表資料

令和3年9月30日

件名

「未来のパパママ応援事業 赤ちゃん講座」の開催について

内容

光市では、おっぱい都市宣言のまちとして、「みつめ だきしめ 語りあう」ことを通して、命の尊さを体感し、自分自身や他者への愛情を深め、感謝の気持ちを養うことを目的として、中学3年生を対象に「未来のパパママ応援事業（別紙）」を実施しています。今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、内容を縮小して、以下のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

- 1 行事名 「未来のパパママ応援事業 赤ちゃん講座」
- 2 日時
令和3年10月8日（金）9：40～11：30
- 3 対象者 光市立島田中学校3年生（指定校）
- 4 会場 光市立島田中学校（光市中島田二丁目7-1）
- 5 内容
妊婦体験（妊婦ジャケット）や赤ちゃんのお世話（赤ちゃん人形使用）などの模擬体験学習。
- 6 その他
 - ・新生児訪問（病院実習）と赤ちゃんふれあい体験は中止します。
 - ・取材の際は、受付での記名・検温・手指消毒・マスクの着用をお願いいたします。ご協力よろしくをお願いいたします。

問合せ

福祉保健部子ども家庭課子ども相談係

担当：岡村久美、川村 彰

TEL：（0833-74-5910）

未来のパパママ応援事業

実施の目的

- (1) 中学3年生を対象に赤ちゃんとのふれあいを通して、赤ちゃんのかわいらしさや命の不思議さ・尊さについて体感します。
- (2) 自分自身や他者への愛情を深めるとともに、自身を振り返り、感謝の気持ちを養います。
- (3) 次代を担う子どもたちが近い将来、結婚し親になることを肯定的に感じられるよう促します。

実施内容

学校の授業との連携

第4回

【園児との交流】

幼児とのコミュニケーションやふれあいの楽しさを体験



第5回

【体験の振りかえり】

体験で得た成果の復習
親から子どもへのメッセージ
事後アンケート：生徒



第1回

【オリエンテーション・いのちの授業】 2単元

事業全体説明
おっぱい都市宣言について
生命の誕生・命の尊さを学習



みつめ だきしめ かたりあう

～心温かい人が育つまち“ひかり”～

第3回

【赤ちゃんふれあい体験】

赤ちゃんを抱いたり、あやしたり、育児の楽しさ、大変さを体験
お母さんから育児の話を聞く



第2回

【赤ちゃん講座・新生児訪問】

生まれたての赤ちゃんを見学
妊婦体験ジャケット
赤ちゃん人形を使って赤ちゃんのお世話を体験



事業効果

- (1) 赤ちゃんに関する肯定的な気持ちが、90.6%から92.1%に増加
- (2) 私は「人から大切に思われている」と感じるがあると肯定的な気持ちが、86.3%から93.7%に増加
- (3) 親や家族に対する記述については、肯定的記述が増加し、否定的記述は減少 ※令和2年度実績より

(感想 抜粋)

・赤ちゃんが生まれてくるまでの親の大変さや多くの人々の気配りもあって、健康に育っているんだという気づきを得ることができた。また、赤ちゃんのためにも自分たちのためにも責任の取れない行為をしてはいけないということを認識させられた。未来のパパママ応援事業はこれからの自分たちにとって良い機会になったと思う。

・両親がとても苦労して自分を育ててくれたことに再度気づくことができた事業でした。そして、人を大切にする、人から大切にされるといことがどれだけすごいことかを再認識できました。ここで学んだことをボランティア活動にも生かしていきたいです。そして、この事業を通して感じた感謝の気持ちを忘れず、日々生活していきたいです。

・まず講話を聴いて両親の色々な思いがあって自分が生まれてきたことを知り、とてもうれしく思いました。赤ちゃん体験では初めて赤ちゃんの人形を持って「重っ!!」と言ってしまいました。命の重みだと思いました。私が今まで元気で幸せに生きてこれたことは「当たり前」ではなかったことに気づかされました。コロナで失った当たり前の日常にも感謝しようと思いました。